

Rapport

暮らしの交差点



目次

- REPORT 『暮らしを守る消費生活展』が新宿駅西口広場イベントコーナーにて開催
- NEWS ローリングストックにまつわる消費セミナー開催のお知らせ

REPORT 『暮らしを守る消費生活展』が新宿駅西口広場イベントコーナーにて開催

1月17日・18日に【SDGs 人・社会・地球環境にやさしい消費を】をテーマに『第39回暮らしを守る消費生活展』が開催されました。



当分館の登録団体でもある新宿区消費者団体連絡会(消団連)の加盟団体や本展に賛同する協賛団体、全33団体が日ごろの活動や研究の成果などをそれぞれのブースで展示し発表しました。

消費生活展は2年に1回、新宿区と新宿区消費生活展実行委員会の主催で実施される無料参加イベントで、消費生活の向上を目的として実施されます。イベントは2日間に渡って開催され、パネル展示やブースでの催し物と合わせて、メインステージで行われるバンド演奏やコント、アピールなど、バラエティ豊かな出し物があることが特徴です。

開催初日の1月17日、会場中央のメインステージ上にて消団連が「悪質商法被害防止ミニコント」と題する防犯アピールを実施。実際に起きた特殊詐欺による被害事例をコント形式でユーモラスに表現しながら、悪質商法の手口やその対処方法について訴えました。

ミニコントの後半では新宿消費生活センターの皆本所長と新宿警察署の長澤氏が登壇。皆本所長からは、最新のさまざまな詐欺や消費者トラブルの事例に合わせて、もし自分の身に何かあった時や不安に思った時は、消費者ホットライン「188(イヤヤ)(局番なし)」にお気軽にお電話くださいとの呼びかけがありました。

続いて新宿警察署の長澤氏からは、防犯標語を使った特殊詐欺の防犯意識向上の訴えがありました。長澤氏のお話によると、電話での詐欺対策については家庭の電話を常時留守電にするのがおすすめだそうです。電話が鳴ってもすぐには受話器を取らず、一度留守電メッセージに吹き込んでもらい少し落ち着いてから聞くことで、冷静さを欠いて騙されてしまうのを防ぐ確率が上がるとのことでした。

最後は消団連加盟団体による活動報告が行われ、それぞれ順番に各団体の理念や日々の活動についてアピールし、消団連のステージは無事終了となりました。

また、会場全体では出展団体の活動にまつわるクイズラリーも開催。クイズは各出展団体の展示内容にちなんだものになっており、参加者はクイズラリーを楽しみながら、それぞれの団体の日々の活動内容と、全体のテーマである「SDGs(持続可能な開発目標)」についての正しい知識を学んでいきました。クイズラリーを全て終えた参加者は景品抽選会に参加でき、環境に配慮した景品を獲得し、SDGsへの想いを新たにしていました。



日常の買い物を一工夫して、いざという時でも心のケアにつながる食事を実現しましょう

【分館特別講座】ローリングストックと被災時の実践調理実習を学ぶ特別セミナーを実施します。

**買い物を一工夫して
非常時でも豊かな食事を！！**

～ローリングストックで、いざという時でもいつものおいしいおうちご飯～



昨年発生した台風19号は、東日本および東北地方の広範囲に記録的な豪雨をもたらし、未だに多くの方が過酷な避難生活を続けています。地震や津波、台風などの災害はいつでも発生するが正確な予測は困難であり、長期的な視点で日常を通じてそれぞれが日頃から対策をとることがとても重要です。

たとえ被災してしまった場合でも家族が数日生活できるだけの水と食料は常時確保しておくことが理想です。ただし、近年の研究では被災時の食料は空腹を最低限満たせる非常食だけでは不十分であり、温かいものや普段の食事に近いものなど「心のケアにもなること」が非常に重要であると考えられています。

そこで注目されているのが、普段の消費生活の中で意識するだけで実現できる「ローリングストック」です。「ローリングストック」とは、普段から少し多めに食材を確保しておき、使った分を買って足していくことで災害時も普段の食材を使って「いつもの食事」に近いモノを食べられる画期的な備蓄方法。今までの空腹を満たすことだけを目的とした非常食とは違う、「温かくて美味しいもの」を非常時でも食べる方法を是非この機会を通じて学んでいきましょう。

今回の講座では「ローリングストック」の専門家である昭和女子大学の研究員をお招きし、ローリングストックの考え方、ストックすべき食材・道具についてお話しいたします。後半では、クックパッドにも掲載され話題になった「昭和女子大学 現代ビジネス研究所 食プロジェクト」考案のレシピを使った簡単で美味しい非常時の料理を実際に作ってみて、コツをつかみましょう！

分館特別講座『買い物を一工夫して、非常時でも豊かな食事を！！』

《日 時》2020年3月8日(日曜日)13時～15時30分

《会 場》新宿区立新宿消費生活センター 3F 調理室

《参加費》無 料

《申込方法》HP・メール・FAXにて2月17日(月)より受付開始

①「ローリングストックの考え方と家にストックすべき食材」(1時間程度)

昭和女子大学 現代ビジネス研究所 古田土俊男 特別研究員

今後30年間で首都直下型地震に襲われる確率は70%程度、最悪の場合は1週間で約3400万食分の食料が不足すると想定されています。今回は非常食ではなく、日常から食材を多めに常備して備えるという「ローリングストック」に注目し、基本的な考え方やストックに適した食材、またその収納方法などについて詳しく解説いたします。

②「女子大生が考えたポリ袋で作る非常食レシピ」(1時間30分程度)

昭和女子大学 現代ビジネス研究所 食プロジェクト災害時に役立つ、簡単で美味しいメニューとそのテクニックを紹介します。「簡単で美味しく、普段食べ慣れたもの」「飽きないようにバリエーションを」などをコンセプトに、ローリングストックの考え方をベースに女子大生が考えた非常時のメニューを、実際にみんなで作りながらそのコツを学んでみましょう。



新宿区立新宿消費生活センター分館のご案内

当分館では、会議室と調理室兼商品テスト室の貸し出しを行っています。ご利用にあたっては、利用日前日までに当分館窓口にて利用申請の手続きを完了することが必要です。

窓口受付時間

8:30～22:00(12/29～1/3を除く)

受付期間

利用希望日の前月1日(2月分については1月4日)より利用申請を受け付けます。*登録団体は利用希望日の前々月1日より受け付けます。

申込方法

当分館窓口にて利用申請書に必要事項を記入のうえ、利用料金を添えてお申し込みください。

ご利用料金

ご利用施設 / 時間帯	午前 8:30～12:00	午後 13:00～17:00	夜間 17:45～21:45	全日 8:30～21:45
会議室(定員36名)	1,200円	1,800円	2,200円	5,200円
調理室兼商品テスト室 (最大30名)	1,200円	1,800円	2,200円	5,200円
付帯設備利用料 調理器具(光熱水道費を含む)の料金	1,000円	1,000円	1,000円	3,000円

*調理室兼商品テスト室で調理設備を使用される場合は、上記の付帯設備利用料(1,000円/区分)がかかります。
*団体登録をしている団体については、減免措置が受けられる場合があります。

お問い合わせ

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場1丁目32番10号 【Tel】03-3205-1008 【Fax】03-3205-1007
【Email】consu@shinjuku-center.jp 【URL】https://consu.shinjuku-center.jp

消費生活に関する相談はこちらへ

新宿区立新宿消費生活センター 消費生活相談室



悪質商法・契約・解約など…困った時にご相談ください。(相談料無料)

【相談専用電話】03-5273-3830

*月曜日～金曜日(祝祭日除く)9:00～17:00
*年末年始(12月29日～1月3日)は休業します。

【対象】新宿区民の方、新宿区内在勤
または在学の方

【所在地】新宿区新宿5-18-21
新宿区役所 第二分庁舎3階

分館では、消費生活に関する相談業務は行っておりません

新宿区立新宿消費生活センター分館ニュースレター
Rapport 暮らしの交差点

発行人：田中健一朗 編集者：仲田俊輔

発行No：第2019-049号 発行日：2020年1月31日

指定管理者：有限会社そーほっと